

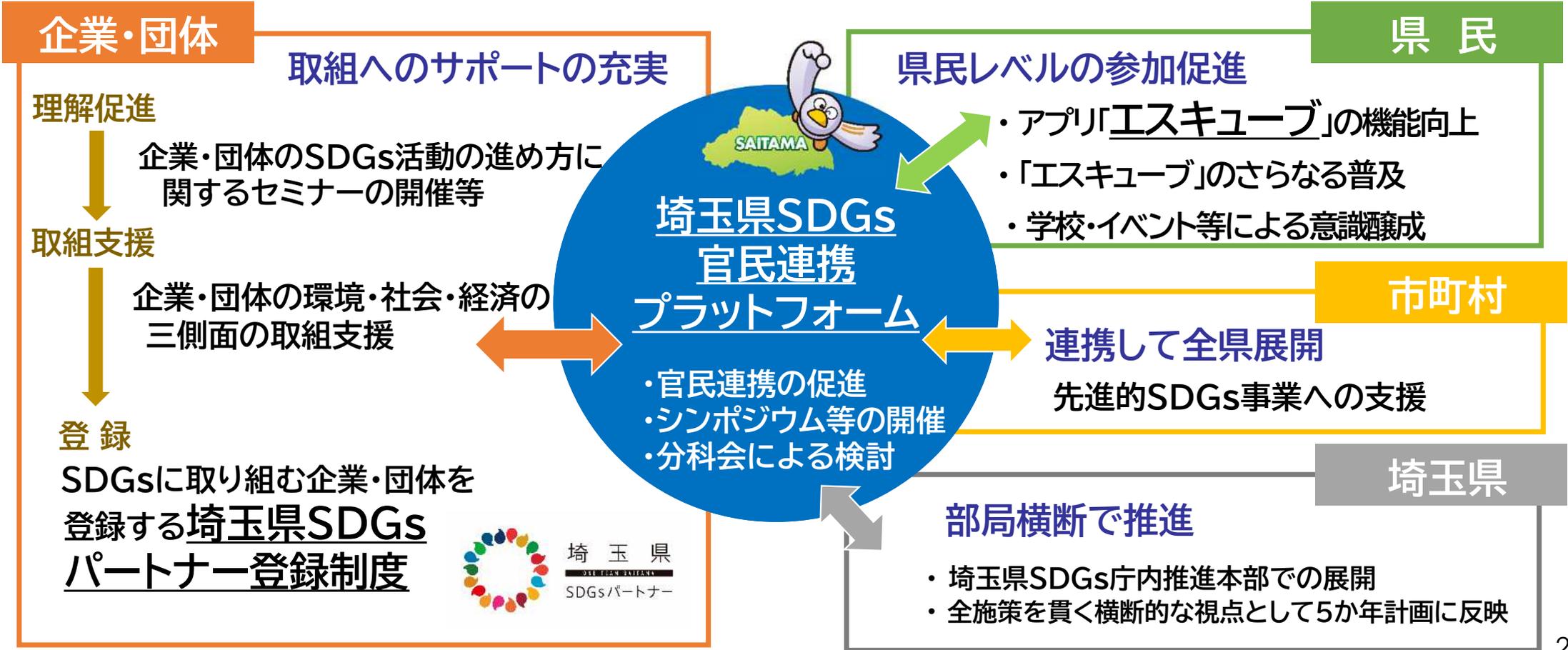
令和6年度 第2回 埼玉県SDGs庁内推進本部会議

議 題

- (1) 令和6年度の取組実績について
- (2) その他（今後の予定）

(1) 令和6年度の取組実績について①

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なプレイヤーとの協働を通じて、誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指す



(1)令和6年度の取組実績について②

● 令和6年度実績値 (令和7年3月7日時点)

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

R5年度末 会員数: 1,809者 → 会員数: **2,109**者

達成

年度末目標
2,100者

埼玉県SDGsパートナー登録制度

R5年度末 登録者数: 1,614者 → 登録者数: **1,867**者

達成
見込

年度末目標
1,900者

埼玉版SDGs推進アプリ「S³」(エスキューブ)登録数

R5年度末 登録数: 15,283件 → 登録数: **30,002**件

達成

年度末目標
30,000件

(1)令和6年度の取組実績について③

1. 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

①シンポジウムの開催

第10回(6月 分科会会員募集@書面開催 閲覧数447件)

第11回(11月 講演等@さいたま文学館(桶川市) 参加者107人)

第12回(2月 成果報告等@さいたま商工会議所(さいたま市)・Web同時配信
会場参加者73人 Webアクセス数74)

②SDGs達成に向けた施策の検討

分科会内でそれぞれ検討

成果は、次ページ及び資料2(第12回シンポジウム資料)参照

③会員と連携したイベントの開催

<新>「埼玉SDGsフェア」(@イオンモール浦和美園)の開催 (R7.1.18-19)

出展:10ブース(13団体参加) のべ1,672人参加 (2日間合計)

④メールマガジンによる情報発信

講演会・セミナーの案内など計27回配信(R7.2末時点)



第11回シンポジウムの様子(R6.11.17)



埼玉SDGsフェアの様子(R7.1.17)

(1)令和6年度の取組実績について④

1. 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

分科会名／検討部会名	構成メンバー数	会議等開催回数	主な検討内容
「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会			
水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会	7者	15回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生による大相模調節池(越谷市)での探求・研究 ○ 調節池の環境保全及び利活用の取組
都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会	43者	12回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大宮公園舟遊池の自然再生と賑わいづくり ○ 公民連携による大宮公園舟遊池ボート事業復活
里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会	26者	3回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー ○ 加治丘陵(入間市)における緑の保全・活用の検討
「未来を創る人材への投資」分科会	6者	8回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筑波大学附属坂戸高等学校生徒による生理用品の知識啓発活動、分科会企業による取組支援
「フードロス削減」分科会	21者	8回	<ul style="list-style-type: none"> ○ フードロス削減に関する啓発イベントやワークショップの実施
「サーキュラーエコノミー推進」分科会<新>	302者	3回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取組紹介や交流会を通じた先進事例の共有 ○ リチウムイオン電池からのレアメタル回収実証試験
「カーボンニュートラル推進」分科会<新>	36者	5回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 脱炭素経営セミナーの開催 ○ 取組紹介や交流会を通じた先進事例の共有
計	441者	54回	※重複含む

(1)令和6年度の取組実績について⑤

2. 埼玉県SDGsパートナー登録制度

①SDGsに自ら取り組む県内企業・団体を登録

- ・年3回(4月、8月、12月)募集受付
- ・今年度受付分から「埼玉県事業者オンライン申請サービス」(ワンスオンリーシステム)による申請を開始し、**事業者の負担を軽減**(594者利用 R7.2末時点)



埼玉県
ONE TEAM SAITAMA
SDGsパートナー

「埼玉県SDGsパートナー登録者へのアンケート調査」(令和6年9月)

登録により貴社(貴団体)にとって利点と感ずること。(上位3つ)

- | | |
|----------------|-------|
| ①従業員のモチベーション向上 | 42.8% |
| ②経営方針の明確化 | 41.6% |
| ③競合他社との差別化 | 30.6% |



埼玉県事業者オンライン申請サービス

②パートナー制度と連携した金利優遇商品を用意

利用実績件数 **771** 件(R7.2末時点)

(1) 令和6年度の取組実績について⑥

3. 埼玉版SDGs推進アプリ「S³(エスキューブ)」

① アプリの利用拡大に向けた取組

- ・プレゼントキャンペーンの実施(R6.2.29~4.10)
- ・メディアでの広報(NHK首都圏ネットワーク「おでかけしゅと犬くん」)
- ・県政出前講座での紹介(21回 R7.2末時点)
- ・「SDGsニュース」での企業・学校等の取組紹介(32回 R7.2末時点)



メディア広報@NHKニュース



出前講座@聖学院大学



ログイン画面のイメージ

② アプリのリニューアル (R7.3.24~)

- ・ログインボーナスの追加、SDGsクイズ・食べきりレシピのコンテンツ追加

(1)令和6年度の取組実績について⑦

4. 市町村や民間企業等との連携による取組

①市町村の取組の横展開

- ・先進的な取組事例の報告(年2回開催)
- ・市町村のSDGs推進イベントの開催協力



令和6年度第2回市町村分科会(R6.11.5)

②民間企業等との連携事業

- ・県内企業等との連携によるSDGsの普及



大宮アルディージャ・ボッチャ体験
(R6.4.18)



浦和レッズ・SDGs取組宣言
(R6.8.24)



IKEA新三郷・間伐材でのオーナメントづくり
(R6.12.14)

(1)令和6年度の取組実績について⑧

5. 企業のSDGs情報開示支援及び認証に向けた検討・項目案の策定

(1)中小企業等の課題

- ①上場企業等の取引関係からSDGsの取組を求めることが増えている
- ②10年、20年先の将来を見据え、時代の潮流に取り残されないようSDGsの取組レベルを引き上げる必要がある

(2)令和6年度の主な取組

中小企業等が自社のSDGsの取組の有無を確認できる**取組項目のリストを作成**

- ・国内外のSDGsに関する諸制度の研究
- ・有識者へのヒアリング
- ・県内企業等へのヒアリング

R7.6頃有識者会議に諮り、
取組項目案を確定予定



★令和7年度の取組(案)

- ・中小企業等が**取組状況を簡便に開示できる支援ツールの作成**
- ・高いレベルのSDGsの取組を行っている中小企業等を**県が認証**

(1)令和6年度の取組実績について⑨

6. SDGsの実現に向けた教育推進事業

民間企業やNPO等の団体と連携し、児童生徒が様々な課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けることを目的に**研究事業**を実施した。(令和5年度～)

<研究モデル校(小学校5、中学校4 計9校)>

上尾市立今泉小学校、上尾市立西中学校

川島町立つばさ南小学校、川島町立つばさ北小学校、川島町立川島中学校

皆野町立三沢小学校、皆野町立皆野中学校

蓮田市立黒浜南小学校、蓮田市立蓮田南中学校

<取組例(蓮田市立黒浜南小学校6年生)>

「20年後の蓮田」について、児童達がグループごとに考えた提案内容を発表し、地域や企業の方からアドバイスを受けた。これらのアドバイスを基に蓮田市長にプレゼンテーションを行い、住みやすいまちづくりについて提案書を提出した。



地域や地域の方への発表会(R6.11.12)

(1)令和6年度の取組実績について⑩

7. その他の取組

①埼玉県ESG債(サステナビリティボンド)の発行

- 👉 **発行額 300億円**
法人投資家向け:280億円 個人投資家向け:20億円(前年度から10億円増額)
※個人投資家向けでは新たにネットでの販売を開始し、全国の個人投資家が購入

👉 主な充当事業

グリーンプロジェクト

- ◆治水・治山対策の推進
- ◆みどりの保全と創出

ソーシャルプロジェクト

- ◆危機管理・防災体制の再構築
- ◆朝霞児童相談所(仮称)の新設

②グリーン共同債の発行

- 👉 44道府県・政令市が共同してグリーンボンド1,228億円を発行
※本県発行額は10億円

【充当事業イメージ】



調節池整備



朝霞児童相談所(仮称)
イメージ

(2) その他(今後の予定)

【次回開催予定】

令和7年度 第1回庁内推進本部会議

R7. 4. 15 (火) 庁議終了後開催予定

議題：令和7年度の取組について